新年のご挨拶

住み続けたい町の商店街を目指して

板橋区町会連合会会長　鈴木　孝雄

板橋区商店街連合会の役員並びに会員の皆様、明けましておめでとうございます。

平成二十三年の年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年の日本経済は、一昨年のアメリカ発のサブプライムローン問題に端を発した経済状況が、瞬く間に全世界に飛び火した後遺症から脱却できず、私たちの生活も先の見えない状況が続いております。

一方、国政においては、鳩山首相が突然辞任し菅政権へと代わりましたが、昨年行われた参議院議員選挙では、野党が過半数を獲得し衆参がねじれ状態となり、新年度の予算編成も危ぶまれる政権運営が続いております。

このような情勢に於いて、貴商店街連合会では、それぞれの商店街が独自の販売戦略と特色ある事業を展開しながら、商店街の活性化と家族連れや高齢者を始め、若者たちに対しても楽しみながら買い物できる商店街を目指して、活発に活動されていることは、大いに評価しているところでございます。

また、11月23日に発売されましたプレミアム商品券は、現在の社会情勢の下では全くタイムリーな施策であり多くの区民に指示され、大好評を博しており、近隣の町会・自治会に住む者にとって大変喜ばしく、その慧眼に改めて感謝と経緯を表する次第であります。

これからも地域住民に優しく、「住み続けたい町の商店街を目指して」更なる発展を心より念願しております。

結びに、貴商店街連合会の益々のご発展と関係各位のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして新年の挨拶といたします。

区内産業の発展に向けて

(社)板橋産業連合会会長　吉川　宏

板橋区商店街連合会の皆様には平成23年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

昨年は貴連合会の皆様には、板橋産業連合会及び会員企業に対しまして、多大なご理解とご協力を賜り御礼申し上げます。

さて、日本経済の状況は、昨年の夏以降の急激な円高の進行による海外生産への移行に伴う中小企業の受注減少、コストダウン要求等に対し、経費削減、原価低減等の勢力をしておりますが、中小企業の経営は厳しい状況であります。また、貴連合会の皆様におかれましても、数年来の年収の大幅減少、求人の減少による新卒を含めた雇用問題、一般消費の低迷等により大変ご苦労されている中、次々と事業を推進、活性化されましたことに敬意を表します。

板橋産業連合会といたしましても、地域産業の発展、会員企業の活性化のために行政に対し経済対策の提言を協力してまいる所存であります。また、各種セミナー、研修会開催、法改正等に関する情報提供を迅速に実施してまいります。

本年も板橋産業連合会及び会員企業に対しても、ご理解ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

結びに、板橋区商店街連合会の益々のご繁栄をご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

機動力とバイタリティーを活かす

東京商工会議所板橋支部会長　齋藤　裕

平成23年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

世界経済は先進国において回復の動きが緩慢なものの、多くの新興国では力強い回復が続いており、総じて緩やかな回復基調にあるといえます。一方、日本経済は、昨年前半に持ち直しの動きが見られたものの足踏み状態が続いている状況です。今後、景気の持ち直しが期待されますが、デフレの影響に加え、依然として高い為替水準など、先行きの不透明感は払拭できていません。特に、経済のグローバル化が加速している状況では、国内市場をターゲットとする起業であっても、世界経済の影響を受け、世界を意識せざるを得ません。このような時代だからこそ、中小企業が得意とする機動力とバイタリティを活かして、個々の企業が独自の強みを存分に発揮していくことが必要だと思います。

このような中、板橋区商店街連合会の皆様は、好評を博している区内共通プレミアム商品券の発行や、各商店街ごとに工夫して個性を活かしたイベントを開催し、需要を喚起するなど積極的に事業を展開されていることに対して敬意を表します。

東京商工会議所では、大きな潮流変化に直面している時代だからこそ原点に立ち返り、「商工業者の声を集約し社会に訴える、そして企業と社会をむすぶ」という思いを堅持し、勇気を持って守るべき理念は守り、時代に合わせて変えるべきものは変え、新しい活動を創造する「イノベーション」を促進したいと存じます。板橋区商店街連合会の皆様にも一層のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。

板橋区商店街連合会の皆様のご多幸と、ご繁栄を心からお祈り申し上げまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

年頭所感　地域社会の「絆」再生に向けて

東京都商店街振興組合連合会理事長
東京都商店街連合会会長　桑島　俊彦

明けましておめでとうございます。

平成23年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

わが国経済は、長引く円高やデフレの影響などにより先行き予断を許さない状況にあり、とりわけ商店街を取り巻く経営環境は、個人消費の冷え込みの中で、郊外型大型店や駅ナカビジネスの急激な展開、経営者の高齢化や後継者不足による空き店舗の増大等様々な問題を抱え、一段と厳しさを増しております。

このような状況下ではありますが、商店街は地域住民の日常生活を支え、文化の伝承・創造や少子高齢化、安全・安心、環境、福祉などの社会課題に対応した公共的な役割を果たしていくことが求められており、国においては地域商店街活性化法により一方、東京都においては「新・元気を出せ！商店街事業」などの施策を通じて、活性化のための意欲ある取り組みを総合的・多角的に支援しております。

こうした施策を積極的に活用し、商店街は「地域コミュニティの担い手」としての自覚と誇りを以てより結束を強固にし、地域住民のニーズを的確に捉える柔軟かつ機動的な活動展開に努めていくことが肝要であります。

とりわけ、高齢化が急速に進展していく中で、所在不明者問題に顕著なように人と人とのつながりが希薄化した無縁社会における「買い物弱者」や「独居高齢者」にとって、歩いて行ける身近な存在でふれあいを大切にする商店街はまさに暮らしのライフラインであり、各方面からの期待も一段と高まっております。その一環として、昨年11月には商店街が地域ぐるみで防火安全体制の強化を目指して連携を推進する協定を東京消防庁と締結しております。都振連・都商連においては、商店街機能の発揮を通じた地域社会の「絆」の再生に全力を挙げて取り組んでまいります。

また、昨年10月には羽田空港に国際定期便が就航し、来年春には東京スカイツリーが開業するなど、首都・東京への来街者増加による商業活性化の機運も大きく盛り上がりつつあります。商店街は都市の顔であり、こうしたシティセールスのチャンスを有効に活かし、「おもてなしの心」を持った取組みで誘客・販売促進を図り、内外への地域の魅力発信による観光振興にも貢献していく所存です。

消費税の引き上げ議論をはじめ大手企業による不当廉売に対する厳正な対処、中小企業金融対策の更なる強化や都内全域における商店街加入促進条例の制定など当面する課題も山積しておりますが、本年も会員一丸となった団体活動の展開による政策要望等の実現に努め、これまで以上に輝かしい成果を上げていきたいと切に念願する次第であります。

皆様のご健勝とご繁栄を心からお祈り申し上げまして、年頭のごあいさつといたします。

「いたばし八丈百万石」発売1万本及び1周年記念祝賀会を開催!!

板橋ブランドの芋焼酎「いたばし八丈百万石」の発売1万本及び1周年記念祝賀会が、11月22日（月）にホテルメトロポリタンの「富士の間」で盛大に開催されました。

参列者は、区内各界の名士ほか都市交流のある金沢市、八丈町役場からも遠路のところご来席をいただき、総勢400人という大変な賑わいとなりました。

祝賀会は、メトロポリタンの先導による入場行進から始まり、先ずは来年、統一地方選挙がある区議会議員の皆様、そして都議会の菅議員、橘議員、次に川口区議会議長、はぎわら副議長が入場し、オオトリに坂本健板橋区長が万雷の拍手の中で登場となりました。

こうして、通例の祝賀会とは一味違う開会で、代表発起人の原田会長の挨拶もいつも以上に気合の入った弁舌で、来会の皆様に大いに受けておりました。

来賓の挨拶の後、これも異例の女性声楽家による祝賀の歌唱、続いて二樽十四人での盛大な鏡開き、そして、鈴木町連会長の発声で乾杯開宴となりました。

その後、吉田酒類協和会会長の進行で商売益々繁盛としゃれた二升五合瓶の「いたばし八丈百万石」が当たる抽選会、加えて迫力ある「磯六太鼓」の大音響の演奏と会場は益々盛り上がり、来会の皆様の満足気な談笑の中、終宴を迎えました。

区内外の著名な皆様を招待し記念祝賀会を開催したことで、元気な板橋区商店街連合会がまたひとつ評価されました。

小規模企業のみなさまへ

元気な経営、マル経融資がバックアップ!

マル経資金融資（無担保・無保証人）

対　　象：従業員20人以下（商業・サービス業5人以下）法人・個人
使　　途：事業資金（運転・設備資金）
融 資 額：上限1,500万円
返済期間：運転7年以内・設備10年以内
利　　率：年1.95%（平成22年12月9日現在）

※本資金は商工会議所の経営指導を受けて融資される安心で有利な国の融資制度です。

経営相談（無料）

◇法律　◇税務　◇経営相談　◇記帳相談

※弁護士、税理士などの専門家が経営に関する様々なご相談をお受けいたします。（会員以外の方でも利用可）

ご相談はお気軽に

東京商工会議所　板橋支部　板橋区板橋3-9-7 板橋センタービル8階　☎ 3964-1711